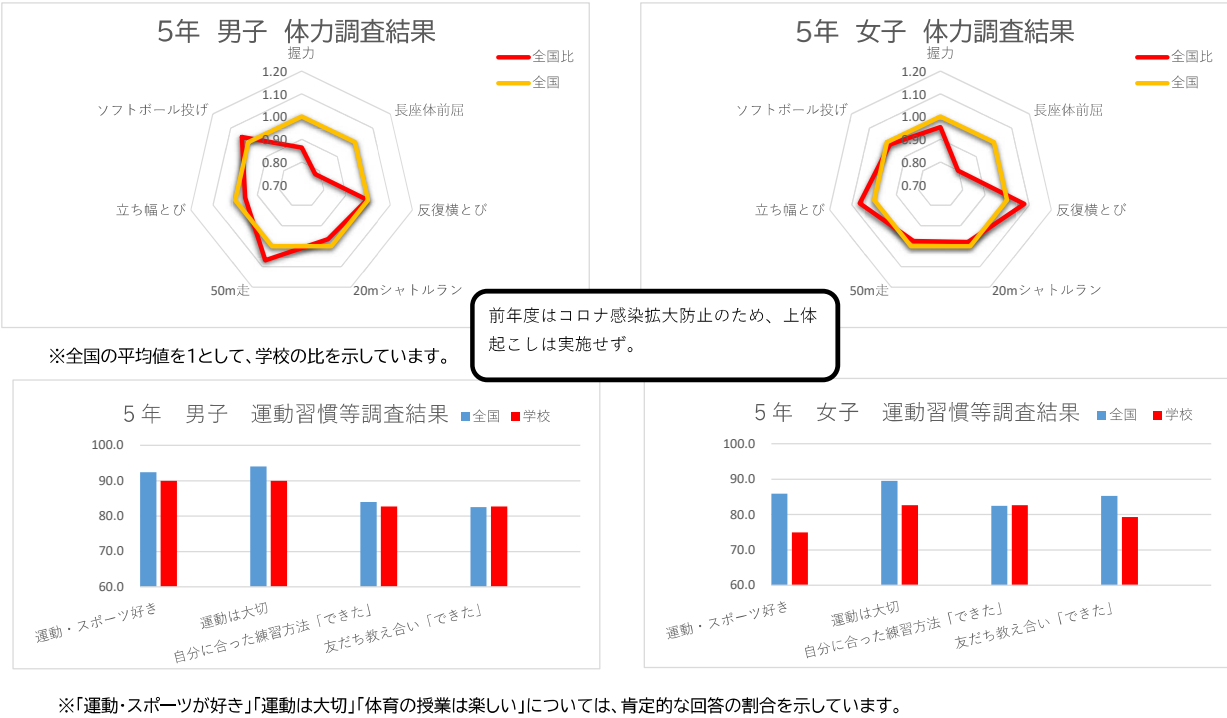




2. 改善プラン						
① 現状と課題						
立ち幅跳びとソフトボール投げは全国平均を上回る結果だがそれ以外の種目において全国平均を下回っているものが多い。特に柔軟・握力の数値が全国の平均と比較すると低い。アンケート結果が全国平均に比べると肯定的な意見が低い。						
② 目標・めざす子ども像						
進んで身体を鍛える意識を高め「命」「健康」を大切にする子どもの育成。 安全に対する意識と態度の育成。 体育の授業や学校全体で、運動する機会を増やし、運動に対する意識を向上させる。						
③ 取組み						
取り組み内容	対象学年	取組時期	元気力としての観点			
			体力	保健	生活習慣	食育
全校で「体力テスト」記録カードを作成し、6年間を通じて、どのように成長しているか確認できるようにする。	全学年	通年	○			
縄跳び習慣を実施する。	全学年	3学期	○		○	
マラソン大会を実施する。	全学年	2月	○	○		
体育の研究内容の講習を実施し、教職員の授業力向上を図る。	教職員	毎月発行	○			
全学年スポーツテストを実施し、課題を見つけ授業に生かす。	全学年	5月	○			
各学年に合わせた学習カードを用いて評価を行う。	全学年	通年	○			
健康診断時に、養護教諭から生活習慣病について指導	全学年	9月		○	○	○
外遊びを積極的に取り組み、体を動かす機会を増やす。	全学年	通年	○		○	
元気力について校内研修を実施する。	教職員	8月	○	○	○	○